

メール、ツイッターだけじゃもったいない! スマホを「**仕事の武器**」に変えるワザ

■ 日経ビジネス

2011年10月4日発行・発売(毎月2回第1・第3火曜日発行・発売)
第10巻第18号通巻238号 2002年10月3日第三種郵便物認可

日経ビジネスアソシエ

2011

10
18

定価 590 YEN

仕事に効く!

毎月第1、第3火曜日 発売

スマホ & タブレット 即効ワザ

設定10分!
パソコンと同期
クラウド活用
地図と連動...



「スマホ生活」激変!

まずはメール連動のスケジュール管理から

「私のお気に入りアプリ」大集合!

スマホ文具化計画

そもそもスマホで仕事していいの?

iPhone5、いよいよ登場!

特集2 仕事が進むメニューから達人の“昼活”まで

差がつくランチ

悪印象の擬態語・擬音語に注意しよう

擬態語・擬音語とは？

「さらさら」「ざらざら」のような視覚、触覚的印象や、「ニコニコ」「そわそわ」の「さらさら」「ざらざら」のような表情や仕草を表す言葉を擬態語と呼ぶ。雨が降っている様子を表すような表情や仕草を表す言葉を擬態語と呼ぶ。雨が降っている様子を表すような表情や仕草を表す言葉を擬態語と呼ぶ。雨が降っている様子を表すような表情や仕草を表す言葉を擬態語と呼ぶ。

歩く

「さっさと」「すたすた」
「とぼとぼ」「たらたら」
「とことこ」...



例1) 営業先からの帰社途中、Aさんが先輩のBさんに一言

Aさん 「Bさんっていつもさっさと歩きますよね」

Bさん 「それどういう意味？」(何か嫌な感じ)

解説

Aさんは「歩くのが速いですね」と言いたかったのだが、「さっさと」という擬態語を使ったために、相手に不快感を持たれた。「さっさと」は、素早く行動する様子を表す擬態語で、「さっさと(素早く)片づけましょう」などと使われるが、「さっさといなくなる」では、自己中心的でせっかちな印象になる。この例の場合、素早さを表すなら「すたすた」が無難だ。

Point

「さっさと」は、シーンによって相手に不快感を与える

<ハ行、カ行、サ行の擬態語・擬音語が持つイメージ>

ハ行

軽い、柔かい、抵抗感のないイメージ

・はらはら
・ひらひら
・ふわふわ

カ行

乾いた、固いイメージ

・カリカリ ・カサカサ
・カラカラ ・コツコツ

サ行

快い、湿ったイメージ

・さらさら ・そよそよ
・すやすや ・しとしと

もう少しで仕事が終わるという時に、「さあ！さっさと仕事を片づけて帰ろう！」と言われると、最後の力を振り絞って仕事を終えようという気になる。この場合の「さっさと」は、「てきばき」「素早く」「効率的に」などの意味を含む。けれども、「佐藤さんは一次会の後、さっさと帰ってしまいますよね」などと使われると印象は一変する。「自己中心的」「せっかち」というイメージになる。上の例のように、「歩くのが速いですね」という意味で話したつもりでも、「さっさと歩かれますね」と言ってしまうと、「私のことを気にも留めず」というニュアンスになり、相手に不快感を与えかねない。

「さっさと」のように、人の仕草や行動を感覚的に示した言葉を擬態語と呼ぶ。例えば、歩く動作であれば、「すたすた」「とぼとぼ」「たらたら」「とことこ」などがある。表情を表す「ニコニコ」や「ニヤニヤ」も擬態語だ。

似たような言葉では、雨の降る様子を表した「ザーザー」「ぼつぽつ」「しとしと」、風や木の音を表現した「ビュービュー」「ミシミシ」といった擬音語(擬声語)がある。どちらも、感覚的なイメージを伝える言葉として重宝する。

マイナス言葉に要注意

擬態語や擬音語は、相手の想像力を膨らませ、感情に訴えかける働きがある。それだけに、「さっさと帰ってしまう」のように、マイナスの印象を与えてしまう擬態語や擬音語を使うのは避けた方がいいだろう。

例えば、誰かに「いつもニヤニヤしていますね」と言われたらどうだろう。「ヘラヘラ」に近い、「知性のない薄笑い」をしていると言われたように感じて、嫌な気分になるのではないだろうか。これが「いつも、ニコニコしていますね」と言われたら、きつとうれしく思うはずだ。「ニコニコ」には、元気で明るいイメージがあるからだ。

他の例も考えてみよう。異性が目を見つめて話しかけてくる時、「ジロジロ見つめないでもらえま

例2) 課長の表情を見てAさんが一言

Aさん 「課長、ニヤニヤしてどうしたんですか？」

課長 「え!? そんなに変な顔をしていたか?」(嫌な言い方するな…)

解説

「ニヤニヤ」は、おかしかったり、照れたり、悦に入るなど、薄笑いをしている様子を表現する時に使う擬態語。「いやらしい顔」「変な顔」というイメージを持っている人もいますので、使う時は注意が必要だ。この例の場合、明るく幸せな印象を持つ「ニコニコ」を使って、「ニコニコしていますが、どうしたんですか」と言えば、「いや、ちょっと良いことがあってね」と会話もスムーズに進んだと思われる。

例3) 部長が部屋に入ってきたAさんに対して一言

部長 「部屋に入ってくる時、戸をドンドン叩かないでくれるかな」

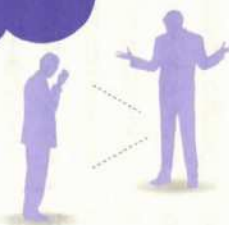
Aさん 「すみません…」(軽くノックしただけなのに…)

解説

戸をノックした音を「ドンドン」と表現すると、いかにも荒っぽく雑に叩いた印象になる。この例では、Aさんは普通にノックしただけなのだが、部長は何から立っていたのか、「ドンドン」という擬音語を使って注意した。けれども、この場合、「もっと軽いノックでいいよ」と言えば済む話。感情的に聞こえる「ドンドン」という擬音語はふさわしくないと考える。

Point

感情的に聞こえる
擬音語は使わない



覚えておくといいいのは、濁点のつく擬態語や擬音語は、マイナス

濁音付きは要注意

「ドンドン」という擬音語は、感情的に聞こえる「ドンドン」という擬音語はふさわしくないと考える。例えば上の例のように、上司が部下に「戸をドンドン叩くな!」と言っているように思われかねないので好ましくない。「もっと軽いノックでいいよ」と注意を促せばいい。

「ドンドン」という擬音語は、感情的に聞こえる「ドンドン」という擬音語はふさわしくないと考える。例えば上の例のように、上司が部下に「戸をドンドン叩くな!」と言っているように思われかねないので好ましくない。「もっと軽いノックでいいよ」と注意を促せばいい。



佐々木瑞枝さん
Mizue Sasaki

武蔵野大学大学院教授
京都府生まれ。山口大学や横浜国立大学の教授職を経て現職。エコールブランタン日本語教師養成講座講師。専門は日本語学。『日本語を「外」から見る』(小学館101新書)、『外国語としての日本語』(講談社現代新書)など著書多数。
<http://www.nihongonosekai.com/>

のイメージを伴う場合が多いこと。「ジロジロ」や「ドンドン」の他にも、「ガンガン」「ザラザラ」「ずかずか」「ぞろぞろ」「ゲラゲラ」「じつとり」など、使うシーンによっては悪い印象を持たれる。これらは、特に注意が必要だ。

擬態語や擬音語を上手に使うと、会話をするとき、感受性や表現力が高くなると思われ、利点がある。会話のきつかけによく使われる天気の話でも、「今日は雨ですね」と言うより、「今日は雨がしとしと降っていますね」と言う方が情緒がある。センスの良い会話をするためにも、普段から擬態語や擬音語を意識して会話の中に取り入れ、表現力を鍛えるといいだろう。